

# 稲沢市の観光における現状と課題について

## 1 現状把握

### (1) 国の現状

#### ① 観光に関する国の動き

国は、「観光立国」の実現に向けて様々な取組を進めています。

##### ■観光に関する国の動き

| 年月        | 取組                                                                                             |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成30年     | 「観光先進国」実現に向けインバウンド受入環境整備を推進                                                                    |
| 令和 2年     | 新型コロナウイルス感染症拡大により観光需要が大幅減少                                                                     |
| 7月        | Go To トラベル事業開始                                                                                 |
| 令和 3年     | マイクロツーリズム、ワーケーションなどの新たな旅行スタイルを推進                                                               |
| 令和 4年 10月 | 水際対策を緩和し、訪日外国人観光客の受入を再開                                                                        |
| 令和 5年 3月  | 「第4次観光立国推進基本計画」策定<br>「持続可能な観光」「地方誘客」「消費額拡大」を重点施策として推進                                          |
| 令和 6年     | 訪日外国人旅行者数がコロナ前水準を回復                                                                            |
| 令和 7年 4月  | 大阪・関西万博開催                                                                                      |
|           | 万博を契機とした広域周遊・地方誘客施策を推進                                                                         |
| 令和 8年 3月  | 「第5次観光立国推進基本計画」を策定<br>「観光の持続的な発展」「消費額拡大」「地方誘客促進」「観光と交通・まちづくりとの連携強化」「新技術の活用・本格展開」の5つを柱に、観光施策を推進 |

#### ② 国における観光政策の方向性

国では、令和8（2026）年3月に策定した第5次観光立国推進基本計画（令和8～12年度）に基づき、観光を地域の活性化や日本経済の発展を支える重要な産業と位置付け、日本の魅力・活力を次世代へ持続的に継承・発展させていく観光の実現を目指しています。

「観光の持続的な発展」「消費額拡大」「地方誘客促進」「観光と交通・まちづくりとの連携強化」「新技術の活用・本格展開」の5つを施策の方向性として位置づけ、インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立、国内交流・アウトバウンドの拡大、観光地・観光産業の強靱化を推進しています。

- 観光は、訪日外国人旅行消費額は9.5兆円（2025年速報）、そしてその経済波及効果は約19兆円に及ぶなど、地域経済や日本経済の発展をリードする戦略産業である。
- 他方、観光を巡り顕在化している課題として、混雑・マナー違反等の個別課題への対応、特定の都市・地域への集中是正など、オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策の強化が不可欠。加えて、深刻な人材不足への対応、観光の高付加価値化、国内交流の拡大、災害や国際情勢等の様々なリスクに対する強靱性の確保などの課題への対応が不可欠。
- 5つの施策の方向性を進めることで、地域住民と観光客双方の満足度を向上させ、交流人口・関係人口を拡大するとともに、「住んでよし」「訪れてよし」に加え、「働いてよし」の観光産業の実現を推進するための施策を強力に推進。

## 施策の柱

### 1 「インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立」

- ・局所的・地域的に生じている混雑・マナー違反等の個別課題への対応（民泊関係含む）
- ・地方誘客を進めるための広域的な体制の整備
- ・地方誘客及び消費拡大に効果の高い観光コンテンツの充実
- ・地方部への交通ネットワークの機能強化

### 2 「国内交流・アウトバウンド拡大」

- ・休暇の分散・旅行需要の平準化
- ・関係人口の創出や二地域居住の促進
- ・国内・海外旅行の需要喚起に向けた機運醸成
- ・観光復興に向けた再生支援

### 3 「観光地・観光産業の強靱化」

- ・持続可能性を高めるためのインバウンド市場・観光コンテンツの多様化
- ・観光DX、省力化投資等による生産性向上
- ・健全な競争環境の整備
- ・ユニバーサルツーリズムなど多様なニーズへの対応

## 国が目指すべき2030年の姿

戦略産業として、日本の魅力・活力を次世代にも継続的に継承・発展させていく  
観光

■「観光立国推進基本計画」（第5次）（概要版より市作成）

|                | 目標値<br>【2030 年】 | 実績値<br>【2024 年】 |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 訪日外国人旅行者数      | 6, 000 万人       | 3, 687 万人       |
| 訪日外国人旅行消費額     | 15 兆円           | 8. 1 兆円         |
| 地方部での外国人延べ宿泊者数 | 1. 3 億人         | 5, 086 万人       |
| 外国人リピーター数      | 4, 000 万人       | 2, 422 万人       |
| 日本人国内旅行消費額     | 30 兆円           | 25. 2 兆円        |

## （2）愛知県の現状

### ① 愛知県の取組

愛知県では、「あいち観光戦略 2024-2026」に基づき、『さすが』と言いたくなる『観光県・あいち』—あいち『ツウ』リズム 2.0—」を目指す姿として掲げ、訪れる人、住む人、働く人のウェルビーイング（満たされた状態）の実現を目指しています。

また、「高付加価値化の推進」「持続可能性の追求」「デジタル化・DXの推進」「オープンイノベーションの促進」の4つを基本方針とし、地域資源を活用した観光コンテンツの充実や観光産業の高付加価値化、デジタル技術を活用した観光振興、多様な主体との連携による新たな価値創出などの取組を推進しています。

さらに、ジブリパークや2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）などを契機として、国内外からの誘客促進と観光消費額の拡大を図るとともに、持続可能な観光地域づくりを進めています。

稲沢市においても、愛知県が推進する広域周遊や高付加価値化の取組と連携し、「織田信長公生誕の地」をはじめとする歴史資源や、「国府宮はだか祭」「祖父江のイチョウ黄葉」などの地域資源の魅力向上と情報発信を進めることで、市内への誘客促進や観光消費額の拡大につなげていくことが期待されます。

### ② 愛知県の観光に関する統計

愛知県の観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に大きく減少したものの、その後は回復基調にあり、令和6（2024）年には約1億1,073万人となり、前年から約1,061万人増加（前年比110.6%）しました。

また、観光消費額についても回復が進み、令和6（2024）年は約1兆2,131億円となり、前年から約1,648億円増加（前年比115.7%）しました。特に、訪日外国人旅行者数の回復に伴い、外国人旅行者による観光消費額が伸びており、インバウンド需要の回復が観光消費額の増加を後押ししています。

今後は、観光客数の増加に加え、滞在時間の延伸や観光消費額の拡大につながる高付加価値な観光コンテンツの充実や、県内各地域への周遊促進など、地域経済への波及効果を高める取組が重要となっています。

### （３）稲沢市の現状

本市には、「尾張大國霊神社（国府宮）」をはじめとする歴史・文化資源や、「桜」や「イチョウ」など四季を感じられる自然資源、植木・苗木産業など、多様な地域資源があります。また、近年ではご当地グルメ開発など、新たな観光資源の創出にも取り組んでいます。

今後は、これらの地域資源を効果的に磨き上げるとともに、地域資源同士をつなぐ周遊性の向上や情報発信の充実、多様な主体との連携を進めることで、本市ならではの魅力を活かした持続的な観光まちづくりを推進していくことが求められます。

#### ■SWOT 分析

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div data-bbox="212 862 323 974"> <div>S</div> </div> <div data-bbox="363 907 612 945"> <b>強み（Strength）</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「国府宮はだか祭」をはじめとする全国的な知名度を有する観光資源</li> <li>●「祖父江のイチョウ黄葉」「へいわさくらまつり」など四季を感じられる観光資源</li> <li>●「織田信長公生誕の地」など歴史・文化資源の活用が期待できる</li> <li>●植木・苗木やぎんなんなど特色ある地域資源</li> <li>●名古屋市に近く交通アクセスに優れている</li> </ul>   | <div data-bbox="825 862 936 974"> <div>O</div> </div> <div data-bbox="976 907 1305 945"> <b>機会（Opportunities）</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国における地方誘客の推進</li> <li>●愛知県における広域観光の推進</li> <li>●インバウンド需要の回復、多様化</li> <li>●SNS・デジタル技術の普及による情報発信手法の多様化</li> <li>●歴史・武将や体験型観光への関心の高まり</li> </ul> |
| <div data-bbox="212 1305 323 1417"> <div>W</div> </div> <div data-bbox="363 1350 644 1388"> <b>弱み（Weaknesses）</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「国府宮はだか祭」「祖父江のイチョウ」以外の観光資源の認知度が低い</li> <li>●観光資源を結ぶ周遊性が不足している</li> <li>●食・土産・体験型コンテンツが十分ではない</li> <li>●情報発信力が十分とはいえない</li> <li>●通年で体験できる着地型観光メニューが少ない</li> <li>●東西方向における公共交通網が脆弱</li> </ul> | <div data-bbox="825 1305 936 1417"> <div>T</div> </div> <div data-bbox="976 1350 1209 1388"> <b>脅威（Threats）</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人手不足による観光産業の担い手不足</li> <li>●少子高齢化、人口減少による観光市場の変化</li> <li>●自治体間の観光誘客競争の激化</li> <li>●自然災害や感染症等による観光需要の変動</li> <li>●旅行ニーズの多様化・高度化</li> </ul>      |

## 2 過去の調査分析結果

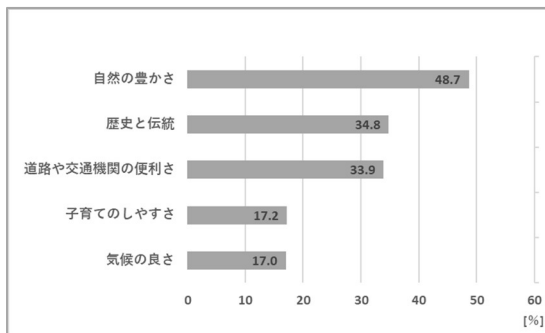
### (1) アンケート調査からみる市民及び市外在住者の意識

平成 29 年度に第 2 次稲沢市観光基本計画策定に向けて実施した「稲沢市観光に関する市民意識調査」及び「稲沢市の観光に関するインターネット調査」によると、市民は「自然の豊かさ」や「歴史と伝統」を稲沢市の魅力として認識しています。また、「尾張大國霊神社（国府宮）」や「国府宮はだか祭」は、市民が市外の人に紹介したい観光資源であるとともに、市外在住者の認知度・関心度も高く、稲沢市を代表する観光資源となっています。

一方で、市外在住者に対する稲沢市全体の認知度向上や、観光資源の魅力を効果的に発信する取組が課題として挙げられています。また、「魅力ある食・お土産の充実」や「観光パンフレット・マップなどの情報発信の充実」を求める意見が多く、観光資源の磨き上げと受入環境の整備が求められています。さらに、美しい自然環境が楽しめる観光地への関心が高いことが分かりました。

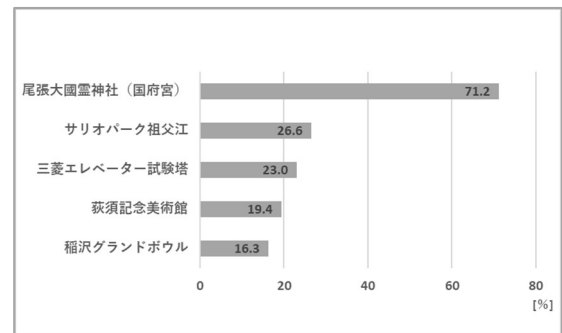
また、市民の約 7 割が観光まちづくりへの参加意向を示している一方で、参加方法や活動のきっかけが分からないとの意見も見られました。今後は、市民が主体となって観光まちづくりに関わる機会を充実させるとともに、観光振興の目的や意義を継続的に発信し、市民の機運醸成を図ることが重要です。

■稲沢市民が持つ稲沢市の魅力（上位 5 位）



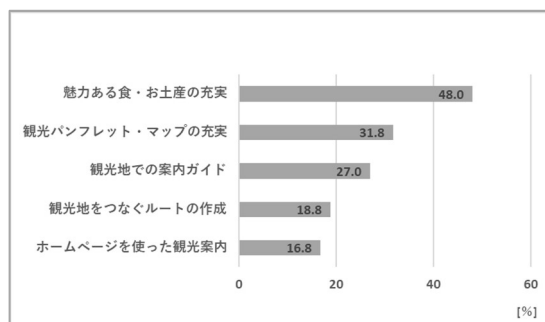
資料：稲沢市の観光に関する市民意識調査より

■稲沢市民が紹介したい観光地（上位 5 位）



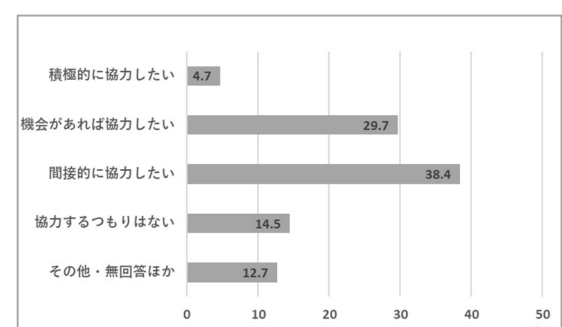
資料：稲沢市の観光に関する市民意識調査より

■市外在住者が思う観光地に充実してほしいこと（上位 5 位）



資料：稲沢市の観光に関するインターネット調査より

■稲沢市民の観光まちづくりへの参加意向



資料：稲沢市の観光に関する市民意識調査より

## (2) ヒアリング調査からみる観光関係団体等の意識

平成 29 年度に実施した稲沢市観光基本計画策定にあたってのヒアリング調査によると、稲沢市の観光資源に対する観光関係団体等の意識は次のとおりとなっています。

- 「国府宮はだか祭」は市を代表する観光資源として広く認知されている一方、その他の観光資源については認知度が十分とはいえず、稲沢市全体の魅力を発信していくことが必要とされています。
- 観光資源ごとの取組だけでなく、地域資源を組み合わせた周遊ルートの形成や、体験型観光の充実などにより、観光客の滞在時間の延伸につながる取組が必要とされています。
- 「食」や「土産品」の充実、観光資源やイベントに関する情報発信の強化など、観光客の満足度向上につながる受入環境の充実が求められています。
- 観光まちづくりを推進するためには、行政、観光協会、事業者、市民など多様な主体が連携し、地域全体で観光振興に取り組むことが重要とされています。

## (3) 稲沢市への来訪状況

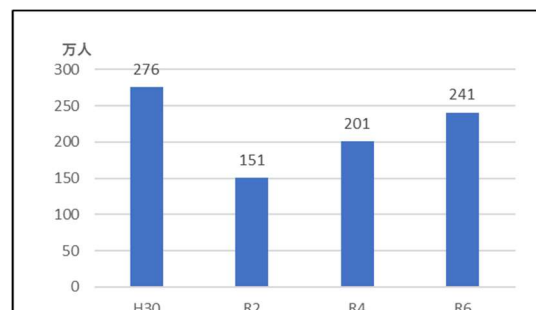
愛知県の観光レクリエーション利用者統計によると、平成 30 年以降、稲沢市の主要な観光施設・イベントの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に大きく減少しましたが、その後は回復傾向にあります。しかしながら、多くの施設・イベントでは依然として新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復しておらず、さらなる誘客促進が課題となっています。

■各観光地・イベントの来訪者の推移（H30-R6 比較）

| 観光・レクリエーション資源・施設 | H30       | R6        | H30年比   |
|------------------|-----------|-----------|---------|
| 荻須記念美術館          | 57,542    | 67,059    | 116.54% |
| 尾張大國霊神社(国府宮)     | 1,374,182 | 1,504,287 | 109.47% |
| 国府宮はだか祭          | 195,000   | 80,000    | 41.03%  |
| いなざわ植木まつり        | 55,000    | 48,400    | 88.00%  |
| 稲沢あじさいまつり        | 54,000    | 52,000    | 96.30%  |
| 稲沢まつり            | 107,000   | 48,000    | 44.86%  |
| 矢合観音             | 102,000   | 49,000    | 48.04%  |
| 稲沢夏まつり           | 54,500    | 55,000    | 100.92% |
| そふえイチョウ黄葉まつり     | 271,750   | 214,000   | 78.75%  |
| 稲沢サンドフェスタ        | 51,000    | 48,203    | 94.52%  |
| いなざわ梅まつり         | 25,700    | 12,000    | 46.69%  |
| 祖父江善光寺東海別院       | 410,100   | 231,000   | 56.33%  |
| 合計               | 2,757,774 | 2,408,949 | 87.35%  |

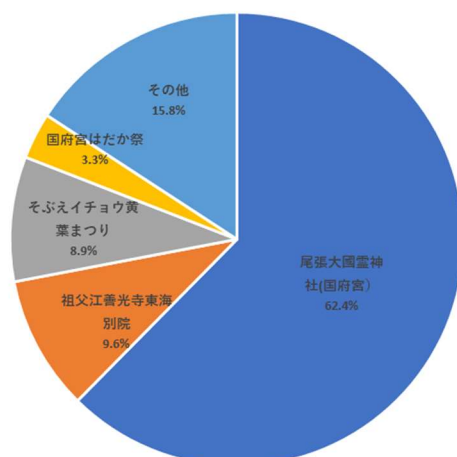
資料：愛知県「観光レクリエーション利用者統計」

■観光入込客数の推移



■観光入込客の割合（令和 6 年）

来訪者数：2,408,949 人



### 3 現状分析を踏まえた課題

---

国・県の観光施策の動向や本市の現状、過去のアンケート調査及びヒアリング調査の結果を踏まえると、本市には魅力ある観光資源が数多く存在する一方で、観光資源の認知度向上や周遊性の向上、食・土産・体験コンテンツの充実、情報発信の強化などが引き続き課題となっています。

また、前回調査から約 10 年が経過し、この間、新型コロナウイルス感染症の拡大・収束やインバウンド需要の回復、旅行ニーズの多様化など、本市を取り巻く観光環境は大きく変化しています。

そのため、第 1 回策定委員会で決定した調査方針を基本とし、過去の調査結果との比較・検証を行うとともに、新たな課題や観光ニーズの変化を把握し、第 3 次稲沢市観光基本計画の策定に反映するため、次の 3 つの視点から、市民・市外居住者へのアンケート調査及び観光団体・観光事業者等への個別アンケートを実施します。

#### ■今後実施する調査の視点

- ① 市民の観光まちづくりに対する意識や地域資源に対する認識の把握
- ② 市外居住者の稲沢市に対する認知度や観光ニーズ、来訪意向等の把握
- ③ 観光団体や観光事業者等への個別アンケートによる観光振興の課題や今後の取組の方向性の把握